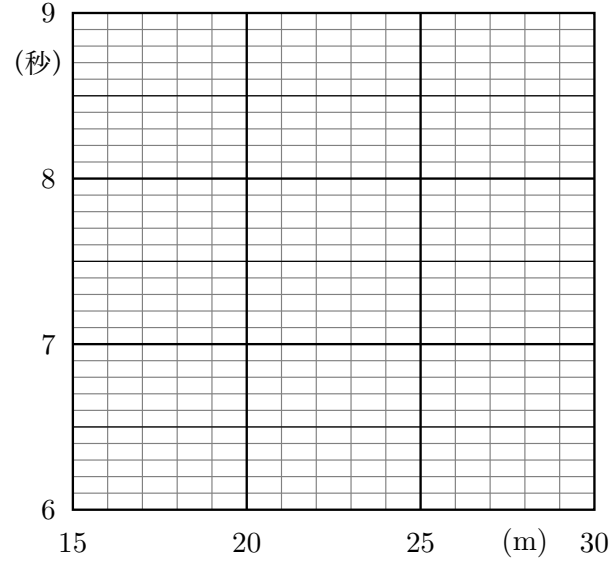


■ 散布図

1 次の表は 12 人の生徒の、50m 走とボール投げの記録である。散布図をつくりなさい。

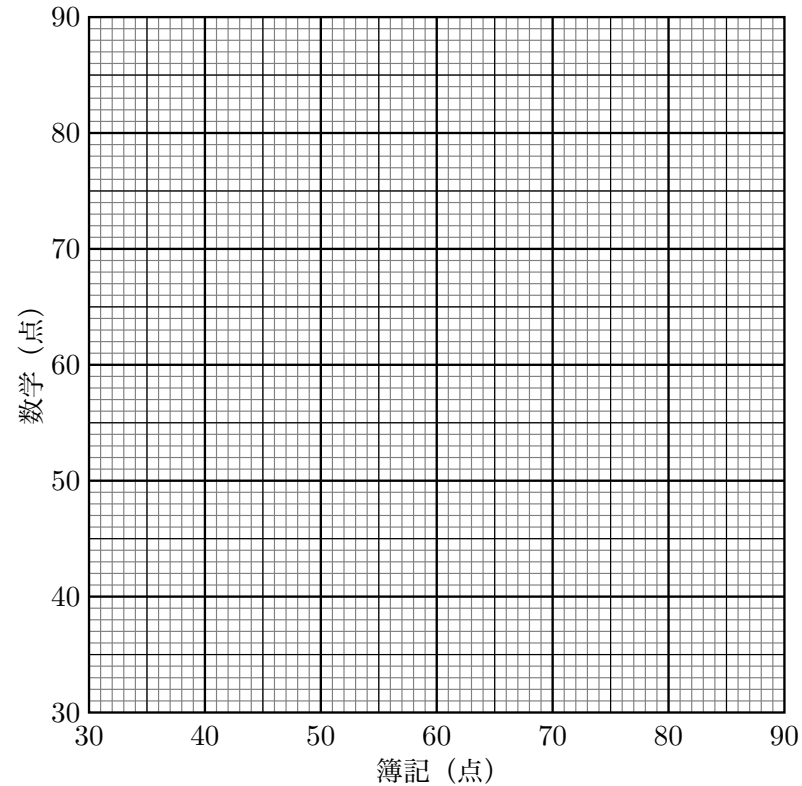
番号	50m 走 (秒)	ボール投げ (m)
1	7.9	18
2	7.3	23
3	7.2	21
4	8.4	17
5	7.4	19
6	7.2	18
7	7.0	26
8	8.3	17
9	6.8	28
10	7.2	22
11	7.6	24
12	7.5	23



氏名 _____

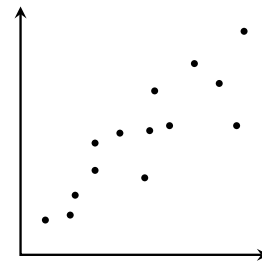
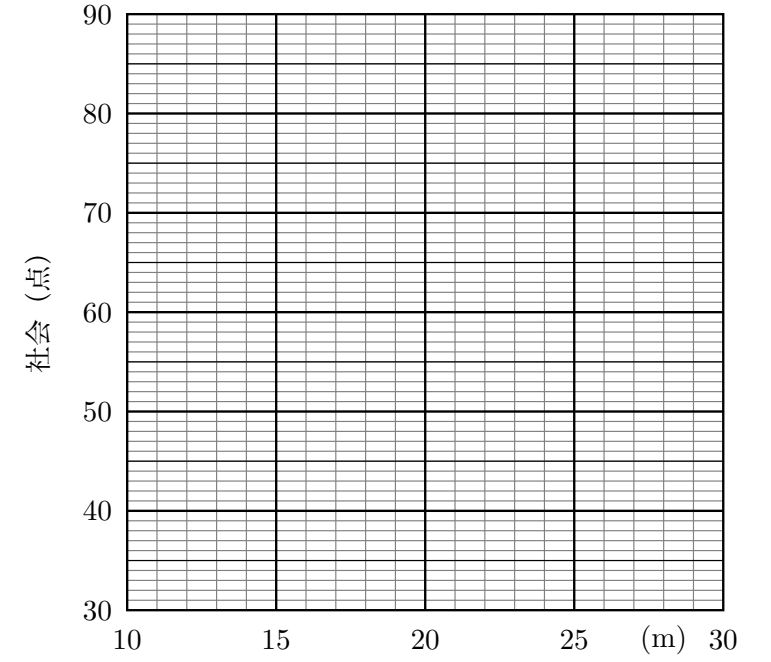
2 次の表は 12 人の生徒の、数学と簿記のテストの点数である。散布図をつくりなさい。

番号	数学 (点)	簿記 (点)
1	59	46
2	84	73
3	66	54
4	63	57
5	84	70
6	76	67
7	55	41
8	64	60
9	78	62
10	50	32
11	57	55
12	72	58

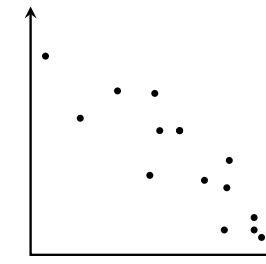


3 次の表は 12 人の生徒の、社会のテストの点数とボール投げの記録である。散布図をつくりなさい。

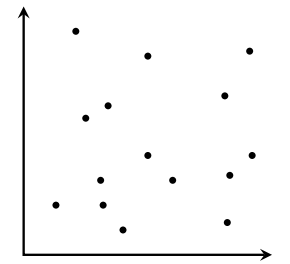
番号	社会 (点)	ボール投げ (m)
1	36	16
2	40	20
3	78	21
4	68	21
5	54	19
6	65	23
7	76	22
8	48	14
9	70	17
10	48	26
11	60	24
12	83	15



正の相関がある



負の相関がある



相関がない

次に、どの程度の相関があるのかを示す数値（「相関係数」という）を計算しよう。

氏名 _____

■ 相関係数

1 データの分析 # 5 2の相関係数を求めなさい。

番号	数学 (点)	簿記 (点)
①	59	46
②	84	73
③	66	54
④	63	57
⑤	84	70
⑥	76	67
⑦	55	41
⑧	64	60
⑨	78	62
⑩	50	32
⑪	57	55
⑫	72	58

$-1 \leq \text{相関係数} \leq 1$ となる

(相関係数は、-1 以上 1 以下の数字にしかない)

数学の平均点

簿記の平均点

数学	数学の偏差 (点数 - 平均点)	(偏差) ²	簿記	簿記の偏差 (点数 - 平均点)	(偏差) ²	数学の偏差 × 簿記の偏差
59			46			
84			73			
86			52			
63			57			
84			70			
76			67			
71			46			
64			60			
78			62			
50			32			
57			55			
72			58			
合計		ア	合計		カ	合計 サ

(数学の分散) = $\frac{\text{ア}}{\text{データの個数}} = \text{イ}$

(簿記の分散) = $\frac{\text{カ}}{\text{データの個数}} = \text{キ}$

(数学標準偏差) = $\sqrt{\text{イ}} = \text{ウ}$

(簿記標準偏差) = $\sqrt{\text{キ}} = \text{ク}$

(数学の標準偏差) × (簿記の標準偏差) = $\text{ウ} \times \text{ク} = \text{シ}$

(数学と簿記の共分散) = $\frac{\text{サ}}{\text{データの個数}} = \text{ス}$

(相関係数) = $\frac{\text{ス}}{\text{シ}} = \text{セ}$

2 データの分析 # 5 3の相関係数を求めなさい。

番号	社会 (点)	ボール投げ (m)
①	36	16
②	40	20
③	78	21
④	68	21
⑤	54	19
⑥	65	23
⑦	76	22
⑧	48	14
⑨	70	17
⑩	48	26
⑪	60	24
⑫	83	15

🔄 相関係数が 1 に近いほど、**正の相関が強い**

🔄 相関係数が -1 に近いほど、**負の相関が強い**

🔄 相関係数が 0 に近いときは、**相関が弱い**

社会の平均点

ボール投げの平均

社会	社会の偏差 (点数 - 平均点)	(偏差) ²	ボ投	ボ投の偏差 (点数 - 平均点)	(偏差) ²	社会の偏差 × ボ投の偏差
36			16			
40			20			
78			21			
68			21			
54			19			
65			23			
76			22			
48			14			
70			17			
48			26			
60			24			
83			15			
合計		タ	合計		ナ	合計 ハ

(社会の分散) = $\frac{\text{タ}}{\text{データの個数}} = \text{チ}$

(ボ投の分散) = $\frac{\text{ナ}}{\text{データの個数}} = \text{ニ}$

(社会標準偏差) = $\sqrt{\text{チ}} = \text{ツ}$

(ボ投標準偏差) = $\sqrt{\text{ニ}} = \text{ヌ}$

(社会の標準偏差) × (ボ投の標準偏差) = $\text{ツ} \times \text{ヌ} = \text{ヒ}$

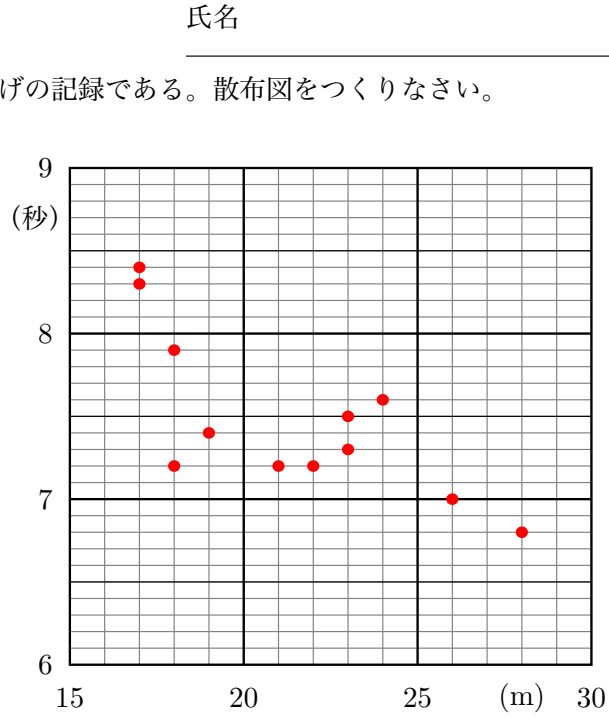
(社会とボ投の共分散) = $\frac{\text{ハ}}{\text{データの個数}} = \text{フ}$

(相関係数) = $\frac{\text{フ}}{\text{ヒ}} = \text{セ}$

■ 散布図

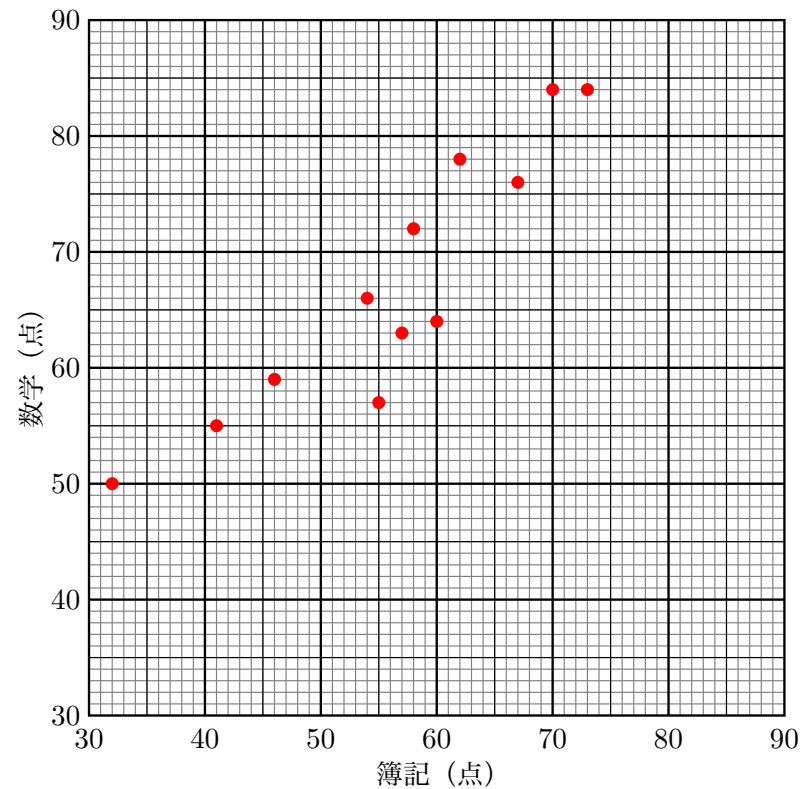
1 次の表は12人の生徒の、50m走とボール投げの記録である。散布図をつくりなさい。

番号	50m走(秒)	ボール投げ(m)
1	7.9	18
2	7.3	23
3	7.2	21
4	8.4	17
5	7.4	19
6	7.2	18
7	7.0	26
8	8.3	17
9	6.8	28
10	7.2	22
11	7.6	24
12	7.5	23



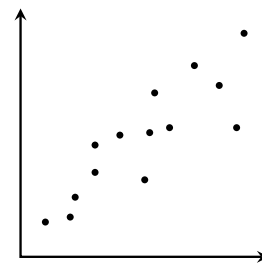
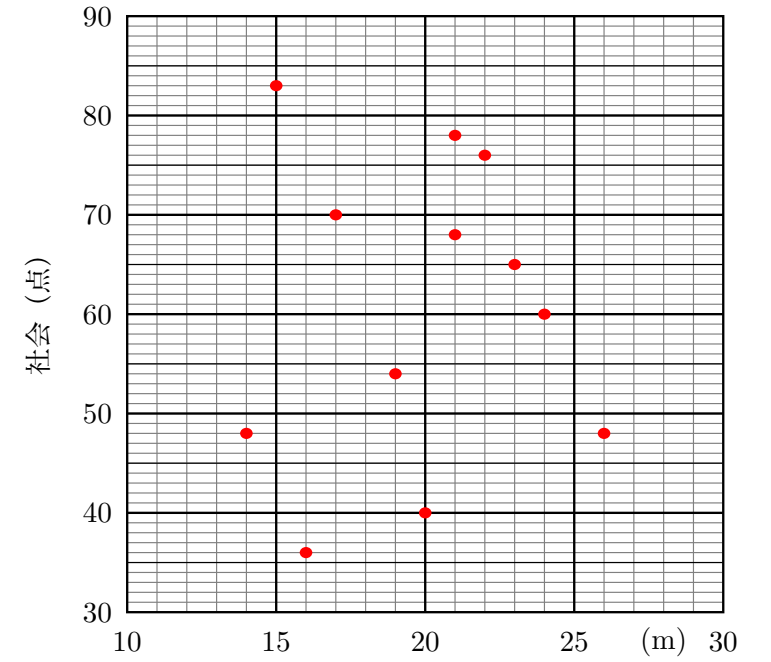
2 次の表は12人の生徒の、数学と簿記のテストの点数である。散布図をつくりなさい。

番号	数学(点)	簿記(点)
1	59	46
2	84	73
3	66	54
4	63	57
5	84	70
6	76	67
7	55	41
8	64	60
9	78	62
10	50	32
11	57	55
12	72	58

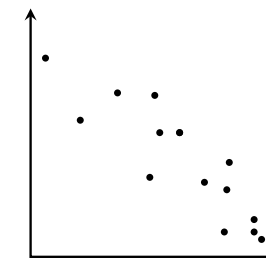


3 次の表は12人の生徒の、社会のテストの点数とボール投げの記録である。散布図をつくりなさい。

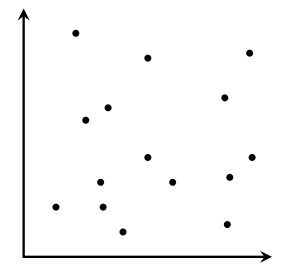
番号	社会(点)	ボール投げ(m)
1	36	16
2	40	20
3	78	21
4	68	21
5	54	19
6	65	23
7	76	22
8	48	14
9	70	17
10	48	26
11	60	24
12	83	15



正の相関がある



負の相関がある



相関がない

次に、どの程度の相関があるのかを示す数値（「相関係数」という）を計算しよう。